

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（泊3号炉）
（551）

2. 日時：令和5年7月13日 13時30分～14時15分

3. 場所：原子力規制庁 8階A会議室（一部TV会議システムを利用）

4. 出席者：（※ TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

忠内安全規制調整官、天野安全管理調査官、江崎企画調査官、

宮本上席安全審査官、秋本主任安全審査官、藤原主任安全審査官、

伊藤安全審査官、谷口技術参与、中房技術参与、三浦技術参与

技術基盤グループ 地震・津波研究部門

石田技術参与

北海道電力株式会社：

原子力事業統括部 部長（審査・運営管理担当）、他12名

原子力事業統括部 原子力リスク管理グループ※、他4名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料：

（1）泊発電所3号炉 耐津波設計方針について（燃料等輸送船の評価方針について）

（2）泊発電所3号炉 設置許可基準規則等への適合状況について（設計基準対象施設等）第5条 津波による損傷の防止（DB05 r. 3. 23）

（3）泊発電所3号炉 ヒアリングコメント回答リスト（第5条 津波による損傷の防止（耐津波設計方針））

（4）泊発電所3号炉 前回審査資料に対する記載適正化箇所リスト 第5条 津波による損傷の防止（耐津波設計方針）

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	イトウ規制庁フジワラです。それでは時間になりましたヒアリングを始めます。泊発電所3号炉、耐津波設計方針についてのうち、燃料という創生の評価方針、これについて事業者の方から説明してください。
0:00:14	はい。北海道電力の高橋です。本日は耐津波設計方針のうち、漂流物に関する御説明ということで、特に燃料等輸送線に関する
0:00:26	漂流物の評価方針についてご説明をさせていただきたいと思います。本日は1回目のヒアリングということで、よろしく申し上げます。当社イシダの方からご説明いたします。
0:00:41	北海道電力の志田です。説明に入る前に資料で号機とあと記載が一部消えていた箇所があったので、そちらの部分お知らせになります。12スライドと、14スライドです各項目の
0:00:56	対策案の詳細説明してるところあるんですけども、そこで優劣の評価という書くべきところを、一部一ササキ採否の
0:01:07	評価という改定部分がありますのでそちら誤記になります。
0:01:15	ですねえなんて説明して、
0:01:20	12スライドでいくと、12345というふうに表が、青い
0:01:27	表があって、採用評価と、
0:01:30	採用評価ってふうになってるんですけど、ここは採用評価と、優劣の評価フローに従うと、そちらが正しいので、こちらのページ5期になってございます。
0:01:41	14スライドも全く同じ動きになってます。
0:01:48	16ページ目なんですけれども、溪流①という対策の、
0:01:53	3番目のところが消えてしまっているんですけども、こちら誤記になりますので後程評価、説明する時にこちらの部分もご説明させていただきます。
0:02:08	では、資料の方説明させていただきます。2ページ目の本日の説明事項のスライドお願いいたします。
0:02:19	前回説明させていただいた内容に加えまして、今回はですね時間短縮江藤燃料輸送線を緊急退避させるための時間短縮に至ったというところの網羅までの網羅的な検討。
0:02:34	あとそういった部分の抽出結果っていうところを前回のスライドに加えておりますのでそこを中心にご説明させていただきます。次のスライドお願いいたします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:47	3 ページ目のスライドではですね評価の対象とした基準津波について説明させていただいております。
0:02:54	現状基準津波確定前の段階であることから、津波の候補の中から押し波の第一波の到達が最も早い波源防波堤の損傷を考慮したモデル1というものを、評価対象の津波として選定しております。
0:03:11	こちらの基準津波なんですけれども、衛藤。
0:03:14	現状の基準津波のヒアリングの資料の中から抜粋してきているものでございまして7月の審査会合でこちらの部分な会合にかかりましたら、その旨、こちらの資料にも、
0:03:27	反映する予定となっております。波の特性といたしましては、第一波の押し波については基準、
0:03:35	第14分で到達するということになってございます。
0:03:39	最大水位が来るのは約21.5分後でその水位は11.65メートルとなっております。
0:03:47	ここの抽出点ですけれども、前は3号取水口近辺の部分使ってみましたけれども、今回につきましては荷揚岸壁に最も近い部分の評価点。
0:03:58	の時刻歴は形を持ってきております。
0:04:02	次のスライドお願いいたします。
0:04:05	4 ページ目からですね。
0:04:07	ただいま説明した津波が来襲した時において、流動性がどうなるかという評価を記載してございます。
0:04:14	第一波押し波到達した際にですね緊急離岸を実施せずに係留したままにした場合にはですね、
0:04:22	岸壁のレベルですとか、津波の発行輸送性の喫水の関係から、図に示すようにですね、乗り上げてしまう評価になるということがわかってございます。
0:04:33	乗り上げた場合にはですね輸送線本体、係留索値上岸壁の状態が健全なのか、こういった破損状態になるのかっていうのは、特定するってことは非常に困難であるため、津波防護施設へ
0:04:47	影響が最も大きくなるような評価に郵送線を衝突させるということを実施する必要があるかなというふうに考えてございます。
0:04:55	次のスライドお願いいたします。
0:04:58	燃料という宗線を膨張底にぶつけるというふうにした場合にはですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:04	1098 回の会合でご説明した考え方に基づきますと、FEMA2012 で、衝突荷重を算出する必要がありますと、現状膨張での構造成立性の評価で考慮している船は、4.9 トンの作業線となつてござい ますので、
0:05:21	ショート通を考慮する船舶を作業線から、今回の燃料輸送線に変更した場合については、防潮での構造成立性は見通せない状況となつて ございます。
0:05:32	よつて基準津波の到達時においては、燃料輸送線の漂流物化を防止する対策というものを検討することとしてござい ます。
0:05:41	次のスライドお願いいたします。
0:05:45	6 ページ目にはですね先行プラント。
0:05:48	の審査状況というのをまとめて記載してございます。こちらにつ いては詳細細かく説明をいたしませんけれども、基準津波の来襲 時には退避する。
0:05:59	それよりも早く到達する津波については係留するということで、 先行プラントの方も評価しているという状況でござい ます。
0:06:08	次のスライドお願いいたします。
0:06:10	このスライドから、対策案の検討内容というか、網羅的にどうい った検討したかというところをご説明させていただきます。
0:06:20	まず、北電として考えた対策案というのを 1 からNo.1 からNo.6 ま で、6 個、対策は考えてござい ます。
0:06:28	それらの対策に対して必須で考慮する事項ですとか、可能な限り 回避する事項として考える考慮事項というのを、以下 5 項目考 えてござい ます。
0:06:39	次の、
0:06:40	ページをお願いいたします。
0:06:44	ただいま説明した考慮事項を踏まえまして、考えた対策案が採用 できるのかどうかというところを、評価するフローというのを、 こちらのページに載せてござい ます。
0:06:56	左側のフローで採用不採用、どうなるかというところを判断し て、そちらがOKになったものについては右側のフローでその評 価、その項目が、
0:07:08	優劣どうなっていくのかというところを評価してござい ます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:13	次のスライド以降で各対策の詳細と、評価結果というところを記載しておりますのでそちら説明させていただきます。次のスライドお願いいたします。
0:07:24	一つ目の対策といたしましては、荷揚岸壁を耐震化して荷揚岸壁に輸送線を係留するという対策を考えております。
0:07:34	こちらの評価につきましては、押し津波時にヤギ岸壁に乗り上げないこと。
0:07:40	または入組線が座礁転覆沈没または破損損傷により航行不能といった状態にならない口頭というのを満足した場合には、OKという評価にさせていただきます。
0:07:53	こちらの対策につきましては、右の図に書いてありますけれども、第1は、第2は、こちらの水位が到達したときにおいてもですね、
0:08:03	燃料輸送線が、荷揚岸壁に乗り上げてしまうという評価になりますので、こちらは影響ありとなっております。
0:08:11	結果こちらの表配布項目は不採用というふうに考えてございます。
0:08:15	次のスライドお願いいたします。
0:08:18	次の対策は、岸壁耐震化した上で漂流物化を防止する策、または、9、柱等を設置するという対策でございます。
0:08:28	こちらの項目につきましても、
0:08:32	エースこちらの表対策につきましてはの利上げを防止することは可能という評価になるんですけども、一方で津波が来襲した際にはですね流総線が柱等にぶつかって、
0:08:43	航行不能になる可能性があるため船舶の保護に影響があると評価して、こちらも採用というふうに考えてございます。また、この対策を講じる場合、船員については、陸側に避難するというのを考えてございますけれども、
0:08:58	万一取り残されるような状態になった場合には当然人命の保護にも影響があるというふうに考えてございます。
0:09:05	次のスライドお願いいたします。次のスライドにつきましては係留方法の見直し、係留箇所を別角度から追加することで、漂流物化を防止するということを検討してございます。
0:09:17	こちらの対策につきましては、係留箇所を岸壁以外の別角度から追加することによりまして、輸送線が系列点から、動かないこと

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	になりますので荷揚岸壁への乗り上げというのを防止することが可能となります。
0:09:33	一方で、最大水位が来た時にはですね係留地点において、燃料輸送線が落ち波に飲み込まれて転覆沈没するといった可能性があるため、こちらにつきましても燃料条線の方に影響があるというふうに評価して、
0:09:47	採用としてございます。人命の考え方につきましては先ほど説明したものと東洋のものとなってございます。次のスライドお願いいたします。
0:09:58	次の対策としては、泊発電所専用の輸送線を造成するというのを考えてございます。
0:10:05	こちらにつきましても、採用不採用でいきますと採用可能かなというふうに考えておきまして、ただ評価項目として工事規模ですとか再稼働工程に影響が出るというふうに評価をしてございます。
0:10:18	そちらの課題の部分に記載している通りなんですけれども、
0:10:22	新規に造成する輸送線の設計条件を明確化して設計した場合においても、その船が造船完了した後にですね当然成立性の評価というか、実機を使って確認をしないといけないと考えておきまして、
0:10:37	その計測で対比が成立しないという可能性が考えられるというところが問題になるかなというふうに考えてございます。
0:10:44	また造船機関ですとか、船舶できた後の保管保全といったところに関しても今後検討する必要があるというふうに考えてございましてこちらは、採用可能ですけれども、列の②番というところの評価にしております。
0:10:59	次のスライドお願いいたします。
0:11:02	次のスライドで説明するのは低公害ので 100 事業所外運搬の部分になります。
0:11:09	こちらの項目につきましては輸送線が発電所に入ってこなくなるので、漂流物の評価というところは、
0:11:16	無線構内の評価から外れることになるので影響なしというふうに考えてございますけれども、核セキュリティの観点として、泊発電所としては専用港を活用した敷地内の輸送を達成することが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:31	その要求事項というふうになってございますのでこちらの対策については採用というふうに評価してございます。また評価に、
0:11:39	直接関係するわけではないんですけども、
0:11:43	輸送経路の途中にある橋っていうのの強度が不足していて、輸送物の重量に耐えることができないので、こちらの対策をしようとした場合にはそういった橋の補強等も必要になってくるということになります。
0:11:56	次のスライドお願いいたします。最後の対策になりますけれども、こちらが緊急退避にかかる時間の短縮といった項目になります。
0:12:05	ここの項目につきましては採用可能で、工事工程等にも影響ないというふうになってございまして、評価としては最適というふうに考えてございます。
0:12:16	課題といたしましては時間短縮のために、
0:12:19	採用を検討している、クレーンの設計条件を今後検討しなければいけないということと、燃料 1000 燃料輸送線以外の大型船舶の扱いについても、再稼働後には当然、
0:12:32	その辺考慮した上で、入港できる船というのを選定する必要があるというところが問題点と考えてございます。
0:12:39	次、
0:12:41	16 スライドお願いいたします。
0:12:44	こちら、さっき一番最初評価抜けているといったところなんですけれども、評価結果すべてまとめられている欄で、抜けている欄に記載しようとしていた内容としては、ここの部分につきましては乗り上げ、
0:12:58	してしまうという評価になる部分でございまして当然船舶の方ですとか人命の保護に影響がありますというところを記載する予定でございました。
0:13:07	次、18 スライドお願いいたします。
0:13:11	最後結論の部分になりますけれども、以下に採血する評価結果より、漂流物化防止の対策につきましては輸送性の退避にかかる時間の
0:13:21	短縮というところが最適というふうに考えてございますので、増対策の検討を進めるという方針としてございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:28	19 スライドにつきましては前回説明した内容から変更ありませんので割愛説明割愛させていただきます。
0:13:36	20 スライド 21 スライドで燃料輸送線と使用済みネル損益に対する要求事項について記載してございます。
0:13:45	20 ページの
0:13:47	工場の耐津波設計における部分につきましてはですね当然要求事項でございますので、
0:13:52	輸送線ですとか、輸送容器が漂流物になる可能性ですとか、
0:13:58	津波防護施設、浸水防止設備に影響が及ぼさないことというのを基準津波確定後にご説明することとさせていただきます。
0:14:06	21 スライド目にはですねそれ以外の部分の法令関係をまとめてございますけれども、輸送線ですとか、使用済み燃料に対して、新規規制基準適用以外で津波に関する要求事項がないというふうなことを確認してございます。説明は以上です。
0:14:23	衛藤規制庁フジワラです
0:14:25	今回燃料輸送線の評価方針についてということで、イラン作業スケジュールという中で、北電として論点として認識しているものについて今回、
0:14:36	パワーポイントで、今、具体的な内容が明確にほぼ明確ですかね、に出されたと。で、基準津波っていうのは3 ページで、これだけの時間、
0:14:46	到達し、等 4 ページの方では、従前の退避の手順だとちょっと結構、
0:14:54	厳しい。だからいろんなことを、対策案を考えた結果、
0:15:00	緊急対応できるだけ頑張る、一応そういうふうな流れが示されてるってのは理解しました。で、一応この内容というのは結構大きな論点っていうこともありまして、内容的にはもう、
0:15:15	イシイサカイ方としてですね、もうこのままかけても十分大丈夫な内容なのかなと。要はこれで議論ができると私はちょっと今考えてますが、北電の方、どうですかね、この点も
0:15:28	今多分 9 月ぐらいに審査会合を予定したかと思うんですけども、これ 8 月の方に前倒してやること。
0:15:36	どうですかね。福西さんは、ご意見いかがですか。
0:15:40	北海道電力の高橋です。我々としても今日の事実確認の結果かなとは思ってございますけれども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:50	燃料組成の対比については、早期にやはり議論すべきポイントであるというふうには認識してございますので、可能であれば8月、
0:16:02	に向けて準備していきたいと思います。
0:16:06	規制庁藤原です。今、事実確認を踏まえてとは申し上げ、申し上げられてましたけども、あくまでもやっぱり事実確認というのは何ですかね、内容を変え、変えるような事実確認というのは一応今回について行い、
0:16:20	いうことは今考えていません。今の現状の紙、ほぼ現状の城間がですね、誤字とか足達イワマの書いていただいても構いませんけども、基本的なあ流れ、
0:16:30	ていうのもこのままで私たちは十分審査会合に向かっていたきたいと思っておりますんで、今からちょっと我々が事実確認をしますけどもそれは単純にもう口頭で、
0:16:41	お答えいただくのみ、止めていただいて構いませんので一応そういうご認識をいただいてもよろしいですか。
0:16:49	はい。北海道電力の高橋です。今日の実事確認が、どう、どういう感じかというの、今のお話でわかりましたで我々としても、
0:17:01	ここでご説明できると思いますので、8月の会合を目指してやっていきたいというふうに思います。
0:17:11	規制庁藤原です。1点だけちょっと私の方から本当に事実だけの口頭での確認をちょっとさしてもらい、してもらいたいの、15ページ開いていただけますでしょうか。
0:17:21	パワーポイントですね。
0:17:25	ここで、なんすかね、地震発生から離岸までの間の
0:17:31	動きが、フローがここで示されてますけど、ちょっと元木、干す口頭で教えて欲しいのが、
0:17:38	まず、燃料祖先が岸壁に係留、何本可能性の係留策で経理されてますんで、それは固定されてるのは、岸壁なのか船なのかっていうのもあったりして、
0:17:50	どう、要は作業員と船の作業員が、
0:17:55	岸壁に行って外して、船に持ってくとか、そういうのがあるのかとか或いは、
0:18:01	単純に発電所の人間がその柵を外して、そのまま逃げていくとか

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:06	今は逃げるまでのそういった作業員の手順で何か今、お話することって可能ですかね。
0:18:12	北海道電力の志田です。現状細かい点については今布田会社さんと調整しているところではあるんですけども、江藤、今野、所の調整でいくと、
0:18:23	先に係留索に二つあって、陸側から陸側に降りて外さないといけない係留策と、船側から外せる係留索という二つがありまして、
0:18:36	陸側の方については、輸送生の船員さんが、他の作業をやってる間に外して、最後逃げるときには、船側から外すものを、
0:18:47	不燃化を加工を外して陸側なんですすみません、船側から係留策を外して離岸させるといった方向で検討してます。
0:18:58	大きいですよ。ちょっと何かよくわからなかったんでまあまあじゃ来、なんすかねえと。今度、
0:19:04	審査会合とかで、そういうふうな手順がもし聞かれても、きちんと答えられるようにしてくださいアノように何が言いたいかという夫婦に乗っている人間が、一旦陸におりて外してまた同じ人が、
0:19:16	戻って、まだ外すのかとかね、そういうのは、何か、どれだけ複雑なのかちょっとよくわかんなかったんで、ちょっとそこはちょっとご検討ください。じゃ、その他、事実確認。
0:19:27	すいません北海道電力の村島ですけども、今のお話の中で少し補足させていただきますと、今志田からご説明した内容というのは、陸側で、
0:19:40	作業してる人が外すか、船側で作業を行っている人が外すかに関しては今、フナ会社と調整をして、基本的に早くやろうと思うんだったら、
0:19:52	陸側で、係留索を外すのは、陸側の作業員が外して逃げれば良いと思っています。一方でシングルA p p っていう最後に外す係留索2本あるんですけども、
0:20:06	これに関しては、船側で引っ張ることで、陸側の作業なしにですね、係留索を取り外すことができるようなタイプですので、
0:20:17	そこに関しては最終的に退避する、もう間際にですね、船側から引っ張って外すということで考えておりますので、あとは、どこが作業やるかっていう調整は、ちょっと今後の調整になります。以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:33	はい規制庁藤原ですわかりました。従前がどうやったかというの はありますけど今後はそういうのが検討中とは理解しました。はい。他、 事実確認ございますでしょうか。規制庁側から。
0:21:02	セトメトキですけども。
0:21:04	プロポの4ページの、
0:21:06	1個だけなんですけど、ここで言っている、右の方のところで、沈 下量って書いて1.5メートルって書いてあるんだけど、
0:21:15	先日聞いた中では、ナカ3.5メートルとか4メートルもあり得る という話をしてるんだけど、まだこの時点では1.5メートルにし てるだけで、技術関係がまだここが、
0:21:28	すぐになってないっていうだけの話、これはねなんか1.5メートル って何か理由があるんですけど。
0:21:34	北海道電力の志田です。今こちらに書いてある1.5メートルとい うところなんですけれども、衛藤に上げて船を本当に係留してい る部分の断面で見たときには、1.5メートルという数値になってい て他のところで断面切ると。
0:21:50	今おっしゃられたように数値変わってくるんですけどもなので 今こちらの方では1.5メートルというふうに記載している。わか りました。ここでは1.5メートルが正しいということで、
0:21:59	敷地全体の最大量としては3.5メートルとかあるけどもってこと です。理解しました。
0:22:07	あと、6ページで、これもちょっと事実確認ですが、
0:22:12	事実確認というかちょっと修正した方がいいんじゃないかと思う んですけど、東海第2のを早く到達する。
0:22:19	津波、
0:22:20	F16のTP19とTP1.9メートル、
0:22:25	て、
0:22:26	多分ばらつきの0.18を足して2.08って考えてないかと思うん ですよね。
0:22:30	大きく見ると、
0:22:32	いうのは他のところも潮位のばらつき、
0:22:34	これは多分柏崎も、
0:22:37	入ってる数字書いてますし、
0:22:39	女川網沿いの小原杉を考慮した数字。
0:22:42	今でもは入ってる数字ってのは確認できてますので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:47	それはなんかさ、合わせたほうがいいのかなと思いますがいかがですか。
0:22:51	北海道電力の志田です。そちらの方は修正させていただきますありがとうございます。
0:22:56	あと、
0:22:58	この女川の早く到達する津波の、
0:23:01	F2F4による津波21、約20分というのがあるんですけど、
0:23:08	我々の中ではF5断層、たかだか1点ですか20分とあるんですけど、
0:23:13	この21分選んだのはあれですか最大水位が、
0:23:18	F4断層の方が高いから、
0:23:22	どういのですかね。
0:23:24	ちょっと資料上ですね、やっぱり最低水位が高いものを今こちらを選んで記載しております。
0:23:31	わかりました。それは事実確認のところで、
0:23:34	それぞれあとなんかね、5番の
0:23:39	高さっておわかりになりますか。
0:23:44	北海道電力の志田です。今こちらの方に書いてないんですけども確認して記載することは可能かなと思います。ちょっと参考程度にもし書けるのであれば、カードで持った方がいいかね。うん。
0:23:56	曾我やったら、
0:24:02	例えば東海第2だと、
0:24:03	多分ムラオカ岸壁の他、岸壁の高さってTP+2.61。
0:24:09	柏崎はプラス5.0。
0:24:11	これは大きいですけど、3.5メートル。
0:24:15	多分島根がTP6ぐらいから+6ぐらいだと記憶してますけど、
0:24:20	そんなもんかなと思いますけどそれって参考程度で、泊は3.0でいい。
0:24:25	ですよ。
0:24:31	今沈下を考えてない場合の状態だけどというですね。
0:24:37	北海道電力の志田ですこちらの表に、各プラントの岸壁の高さというところについても追記させていただきます以上です。
0:24:49	それですけども私からは以上です。
0:24:54	パワポ関係で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:56	はい、じゃあ、伊東さん。
0:25:01	規制庁医長です。事実確認だけなんですけど、
0:25:05	先ほど藤原からも確認があったちょっと15ページの、
0:25:13	具体的な手順的な話なんですけど先ほど係留索外しの関係は
0:25:20	口頭でご説明ありましたがこの岸壁側の利益中断だとか干渉回避っていうのは、これ具体的にどんな手順を踏んで行うものなんですかね。
0:25:32	大道電力の志田です。衛藤。細かい手順を説明するといっぱいになっちゃうんで、大枠なんですけども、クレーンを
0:25:42	船とこう重なってる状態になっていると船出向できないので、荷物つって、クレーンを旋回させておくとか、あとはタラップを
0:25:54	利益だからちょっと、基本的にはクレーン関係の部分を利益作業の干渉回避というふうに呼んでいる感じです。
0:26:01	規制庁のイトウで映っていた、キャスクとかそういったものはあれですか船の中に置くんじゃなくて陸側に、
0:26:11	移動させて、そこからまた移動させるっていうことなんですか。
0:26:16	北海道電力の志田です。現状その、
0:26:19	船に戻すか、陸側に置くかっていうのは時間の差が結構出てきそうなので、今検討中というところになっているんですけども、船に戻す時には上側に戻しますし、陸におろすときには、
0:26:34	当然下ろしやすいところに下ろすといったところを考えてございます。
0:26:37	わかりました。陸に下ろした場合はまたそこから、車等で運搬してっていうことになるってことです。わかりました。はい。あと、とですね。
0:26:47	8ページとかでもいいんですけど、
0:26:57	この3番の人命の保護及び燃料等輸送線の保護への影響っていう観点があると思うんですけど。
0:27:06	これでちょっと聞きたいのはですね、この
0:27:09	燃料という創生の保護、
0:27:11	についてで、
0:27:13	これってて、どういった観点でこれ満たさなきゃいけない事項になってるんですかね何か要求的なものがあったりするんですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:23	北海道電力の首藤です。法令的な要件っていうのが直接あるわけではないんですけども。当然、この船はうちの持ち物ではなくてですね全電力共通の持ち物になってございますので、
0:27:36	当然そこ保護に引っかかり保護するっていうのは必要な事項かなというところを弊社の中で考えてございまして、一つの項目として入れているところです。
0:27:47	いやわかりましたそうすると、この観点で言えば、何ですかね岸壁への衝突とかそういったものは、避けるべきと考えていると、そういう理解でいいですかね。
0:27:57	はい。その認識で問題ありません。
0:28:00	はい、わかりました。私からは以上です。
0:28:10	規制庁の江崎です。14 ページのね、
0:28:14	時間短縮という
0:28:16	こ、いわゆる
0:28:18	研究堆肥の高速化というものですけど、例えば緊急退避。
0:28:24	高速化を図った。
0:28:26	時間の実際の時間っていうのは、
0:28:29	いつごろわかる。
0:28:31	タイミングとして、
0:28:33	北海道電力の志田です。現状今調整中なんですけれども、9月上旬から中旬ぐらいには結論が出るんじゃないかというふうに考えてございます。
0:29:00	すいません北海道電力の高橋ですけれども、ちょっと徐々、9月の上旬が厳しそうなので、下旬には、整理できると思います。
0:29:19	規制庁藤原です。ちなみに時間がわかるっていうのはあれですかね例えば今、クレーンっていうのが今、
0:29:29	今もともと或いは要は遅いやつで、これから早いやつを採用しようかなという状況で、そのクレーンの設計が、
0:29:39	おそらくこの9月ぐらいにおおよそ、
0:29:43	でき、
0:29:43	見なんかある程度めどが立って、時間が、今、関参事いや手で計算できる。
0:29:50	という時期が6月の下旬という理解でよろしいですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:59	北海道電力の志田ですクレーンに関しては設計というよりかはですねクレーンの試験みたいのをやろうかなというふうに考えておりました、
0:30:09	実際に船の当せん層ですとか押す模擬して、吊荷をおろす下ろさない後は浅海にどれぐらいかかるとかそういったところを実測しようかなというふうに考えているところです。
0:30:45	はい。規制庁千原ですわかりました。それ以外、パーク関係。はい。今の話で。はい。
0:30:53	巻き上げる速度とかそういう話の観点で聞いたんですけど、今までですね、実際に、ちょっと次の基準津波の頭をっていう入力津波が、
0:31:03	到達する時間の確定っていうのは、
0:31:06	同じ時期ってかなきゃ。
0:31:08	それとの比較になるから、
0:31:11	ふうん。
0:31:12	加害者とその被害者側とその被害者側の話を今聞いたんですけど、加害者の方、
0:31:18	そっちはいつ来るのか。
0:31:21	ていうのが大体、
0:31:33	うん。
0:31:39	イイダからミイまで。
0:31:45	いわゆるね、
0:31:47	そう。
0:31:48	空間的に何分でつくのかっていう話ですよ。それで、何分が出るのかというそういう話になると思うんで、
0:31:56	その何分二相津波が到達するのかっていうのは、9月、同じ時期に末ぐらいには、
0:32:04	を、
0:32:06	概ねでもさ、
0:32:09	きっちり出ないと。
0:32:11	まだその時期では、
0:32:13	基本的にそんなに大きな、
0:32:18	だから、
0:32:20	ほら、さ出されたみたいにさ、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:23	十分ぐらいで、15分ぐらいで出ていくことができますと、で来るのは30分後ですとか、そういう世界だったらそんなに大きな差はないんだけどここでもう、1分1秒を争うような、
0:32:33	話をしてるわけだから、ある程度数字はね、信頼性のあるものを出していただかないと。
0:32:41	変わらないっていう信頼性ってね。だからある程度そんなに差一行ぐらい変わってもそのめくらチャートさせた。
0:32:47	大きい小さいだけの話は取らないけど、
0:32:50	そんな大幅に金十分んだとハタ30秒かかってしまうぐらいでもその
0:32:56	余裕がどのぐらいあるのかの話になるでしょうから、それはちゃんと後の方ができるぐらいの状態にはできますが、
0:33:44	今いただいたご質問。
0:33:47	入力津波の到達時間については、9月末にしっかり出るかって言われると、まだそこに至らない可能性がありますんでちょっとスケジュール含めて1回確認をさせていただきたいと思います。
0:34:12	規制庁野村です。12ページパワポの、
0:34:17	先ほどちょっと牛田さんの方からご説明なられて右側の表で、
0:34:21	ナンバーツーのところの一番下で、実機を用いた時間計測で緊急対策離岸の成立性しえない可能性がありますよ。
0:34:31	いうご説明ちょっとされましたよね。
0:34:34	一般的に考えれば、その時間大差くうの、
0:34:39	対策項目って全部織り込んで造船作ってくると思うんですよ。
0:34:43	今ここでこういうふうにあえて書かれているというのは、今考えられてる時間探索から比べてどういような不確定要因があるのかってご説明できますか。
0:34:56	北海道電力の志田です。正直なところそこまで詳しく条件を設定して考えているわけではないのでここがこうでという説明はできないんですけども、
0:35:07	不確定要素といいますか他の設備とかでもやはりその試運転みたいのはしてから、
0:35:13	当然やると思うので、問題はないと思うんですけども、毎日こういったことが起きた場合にはプラスアルファで時間かかってしまう可能性があるっていうのを書きたかったというところになりますすいません。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:29	明確なあれがないってことです。ねこれ逆の意味で通しちゃうとね。
0:35:33	今のやり方でも問題があるみたいにも見えないこともないので、わかりました。とにかく、
0:35:39	今は何となくわかっていないけども、
0:35:42	ぼやっとしてるけども、深くても他に現れるかもしれないなっていうことでそういうふうに入れられたということです。はい、そういう理解しました。
0:35:57	規制庁の天田です。パワポの記載の適正化関係ですけど、6ページの、
0:36:03	一番左の欄は、
0:36:07	これあれですかね東海第2とか柏崎刈羽っていうことであれば記載を適正化。
0:36:14	していただければというのと、5ページの、
0:36:17	一番左したで、
0:36:20	昨年12月の会合の資料のページ数なんですけどこれ46ページって書いてあるのは45ページじゃないかと思うんで、確認の上、もし誤記であれば適正化をお願いします。いかがでしょうか。
0:36:36	移動電力の志田です。プラント面については正式名で記載させていただきます。
0:36:42	ページ数に関しても確認して修正が必要な場合は修正させていただきますありがとうございます。
0:36:49	はい。規制庁の天野です。私からは以上です。
0:36:55	ウェブで参加の方でも、パワポの件は、よろしければ。はい。まとめ資料関係でちょっと今回のパワポ以外のもちょっと含めてちょっと確認等ございましたら、規制庁側の方、何かございますか。
0:37:12	すいません規制庁中畑です。資料3-2の
0:37:17	まとめ資料を見ますとこれ全体で見ると、目次は書いてあるんですけど、
0:37:23	今回の
0:37:25	燃料融通線の評価以外にですね。
0:37:29	ページの5条別添1のローマ字の2の、
0:37:34	86ページに、
0:37:36	基準津波に伴う取水用付近の漂流物に対する、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:43	止水性確保から始まっていますけど、これってパワーポイント全然関係ないんですけど。
0:37:49	これを、このまとめ資料に付けた趣旨がわからなくて内容は見えますけど、
0:37:56	今回はこのポートについての説明があるのかなと思ってこれが付けた趣旨は、どういう趣旨なんですか教えていただけますか。
0:38:05	北海道電力の志田です。衛藤。
0:38:08	今までの漂流物審査の時にはですねこの漂流物のところを一式付けるってところで、つけていたというところなので、
0:38:18	対象箇所のみで問題なければ、郵送制などところだけにしようかなというふうに思います。
0:38:25	会合では、そういう造船の身につけるという趣旨。
0:38:30	でしょ。本間。
0:38:31	どちらがよろしいですかね。
0:38:34	ふうん。
0:38:43	外郭防護を前回示したときは、関係ないところは対象外だったんです。同じ扱い。はい。
0:38:54	北海道電力の植原ですけれども、前回3号の放水のフラップゲートの時にも、一部のまとめ資料ということで、その場合には今回の審査会合対象枠で困う等の対応。
0:39:08	行います。今回同じタイミングになろうかと思しますので、資料としても、目次も含めてですね、どの部分というのがわかるようにしたいと思います。
0:39:21	規制庁中澤ですわかりました。ちょっと今関係ないところと言いながらヒルズでちょっと気になったところについて
0:39:30	質問させていただきます。このページのですね、
0:39:34	2-100 ページ、
0:39:37	思います。
0:39:38	等を、
0:39:44	33 番の立ち入り禁止区域策等、
0:39:48	同じくですね 102 ページの 37 番のコンクリートブロックっていうのは、英文 1 で、場所がわからなかったんで、
0:39:58	この平面位置の図というのは、
0:40:01	2-98 ページ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:05	図の2.5-3、27の中に書いてなかったんで、
0:40:13	次、それ、33番と37番の位置っていうのは、表の中に図の中に書いて欲しいなと思っております。
0:40:23	当北海道電力の志田で37番なんですけれども、
0:40:28	一番右の、
0:40:30	海のところの、すみません、ピンポイントなっちゃうけど、ここの、
0:40:34	17から始まるところの一番下に37がいます。
0:40:39	はい。
0:40:40	わかりました。もう1個の策なんですけれども、こちらはプロットするのが、PP上ちょっと問題なので、判例の、設備のところ
0:40:52	ここに全体的にありますっていうのが書いてあります。わかりました。
0:40:57	あそこ37個。
0:40:59	33はあれですか、PP関係はわかりました。はい、了解しました。
0:41:05	あとですねえ。
0:41:18	いや、字が細かくてすみませんなかなか見れなくて、
0:41:25	あとちょっと疑問に思ったのは、同じく2-111111ページ。
0:41:32	表の2点。
0:41:35	2ポツをポツバー-9の両括弧の一井イデ。
0:41:42	例えば、
0:41:43	ナンバー3-サンゴモニタリング建屋とか、ナンバー5の残留塩素建屋、
0:41:51	とかは、
0:41:53	ともにRC構造物で、
0:41:56	海水等の比重3によって減り物にならないって言うんですけど、
0:42:02	これ地震力や津波が結構でかいんで、
0:42:05	壁や柱が破損する可能性もあるんじゃないかと。
0:42:09	破損したやつが、
0:42:11	瓦れきとして、
0:42:13	津波の第2は以降、
0:42:15	もうハーツと流速により、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:17	取水口に到達する可能性って否定できないんじゃないかと思うんですよね。ここら辺についてはどう考えてるんでしょうか。
0:42:36	北海道電力の押田ですRCの建屋の評価については先行プラントさんの評価実績から持ってきているので現状この記載になっ
0:42:46	ているというか評価している状況です。
0:42:48	今の破損形態等については少し論文等を見てもないと、ちょっと回答ができないので、確認して、評価結果に変更が必要な場合は、変更するようにします以上です。
0:43:01	お願いします。私も女は見てみたんですけど女川は第一波が大きくて、第2以降小さいんですね、ちょっと津波形態が違うんで。
0:43:12	比重差で一派だけで流れていけば、問題ないというのを評価してて、今回は、
0:43:19	泊若生、一般にはそれに続く4%コガって結構でかいんで、そこら辺を評価した方がいいと思いますんで、もし、
0:43:28	論文等がありましたら、検討の方お願いします。
0:43:33	あと1つ日。
0:43:35	123 ページ。
0:43:38	これコメントだけなんですけど、
0:43:40	下から言う行目で、
0:43:44	敷地前の車両については発電所周辺の500メートル範囲をって書いてあるんですけど、
0:43:50	これ突然500メートルで出てくるんで、これは注意書きで、MRAのレポートから持ってきたとか、何かで説明した方がいいと思いますんで、
0:44:00	その対応の方をお願いしたいと思います。
0:44:04	対応電力の下です船舶の方とかにもですね500メートルというふうに出てきておりますので、センコーさんと同様にですね、500メートルの根拠というか、そういった部分の記載については追記させていただきます。はい。よろしくをお願いします。私から以上です。
0:44:19	基準津波確定後に、解析方踏まえてか記載します。
0:44:31	規制庁藤原ですそれでは全体を通じて島イデ参加の方も含めて、規制庁側からいかがですか。
0:44:38	よろしいですかね。はい。北電の方から何か確認したいこととかございますか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:48	北海道電力からは特にございません。はい。それでは、今日のヒアリングは以上としたいと思います。
---------	--

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。